

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2025年度 パフォーマンス向上会議情報(2025年8月6日(水)分)

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。当発電所では、社内の会議体(パフォーマンス向上会議)において「不適合」と判定したすべての事案を本ホームページで公表しています。

2025年8月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去装置(B)出口弁配管溶接部ピンホールについて】 当社社員が、既設多核種除去設備作業の工事監理立会時に滴下跡を確認したため、現場調査を実施。タンク出口弁の下流側配管の溶接部にピンホール(極小径の穴)があり、1滴/分程度の水が滴下していることを確認。 滴下箇所養生シート及び受けを設置し、1日1回のパトロールにて滴下状況を確認。 今後、ピンホール箇所の補修を実施予定。</p>	GⅢ	8月4日
2	<p>【地下水ドレン集水設備制御盤(C)電源ユニットの焦げ跡について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、地下水ドレン集水設備制御盤(C)の警報発生を確認。地下水ドレン集水設備(C)の水位指示、ポンプ及び弁の制御状態が、停止していることを確認。 現場を確認したところ、現場制御盤にてアラーム音の鳴動及びランプが消灯しており、制御盤内の電源ユニットに焦げ跡を確認。 焦げ跡については、双葉消防本部が状況確認を実施し、「非火災」と判断された。 地下水ドレン集水設備(C)については、地下水ドレン集水設備制御盤(C)の故障のため運転停止。 なお、地下水ドレン集水設備(B)が、運転及び監視可能であり、地下水水位管理に問題はない。 今後、原因調査を実施し、電源ユニットの交換を実施予定。</p>	GⅢ	8月1日